

北海道大学デジタル・キャンパス推進の基本理念と基本方針

令和4年6月6日 総長裁定

1. はじめに

本学では、第4期中期計画において、デジタル・キャンパスを推進するにあたり、業務全般の継続性の確保、機能の高度化及び働き方改革の推進のため、デジタル技術を積極的に活用し、情報セキュリティを確保した情報環境の高度化を推進することを目標に掲げている。「比類なき大学」北大を目指すにあたり、本学におけるデジタル・キャンパス推進の基本理念と基本方針をここに定める。

本学は、基本理念及び基本方針に基づき、教育、研究及び事務業務（働き方）に係るデジタルトランスフォーメーションを強力に推進し、目標の達成を目指すこととする。

2. 基本理念

- ・ 質の高い内部統制の実現、教員と職員の協働関係（教職協働）の構築やデジタルトランスフォーメーションによる働き方改革を通じたモチベーションマネジメントの推進により、対話力・行動力のある確かな経営体制を確立する。
- ・ データ駆動型の教育・研究・産学連携の推進に向けた改革を行い、学術融合分野の創発や新たな学術連携・産学連携の構築により、本学の強みを創出する。

（北海道大学第4期中期目標・中期計画前文より）

3. 基本方針

- ・ 基礎研究力の向上と研究成果の社会実装等の応用研究の推進を両立させ、国内外の課題解決やイノベーションの創出、先駆的な高等教育への展開を主導するため、先進的なデジタル技術の利活用に関わる学内外の連携体制を構築する。さらに、データ駆動による学際的な融合分野の創発や新たな学術連携・産学連携の推進により、本学の強みを創出する。
- ・ 先進的なデジタル技術を活用したデータ駆動型の教育・研究・大学運営・社会連携の推進ならびに、そのために必要となるデータのセキュリティやガバナンスを確保するため、データ基盤・システム基盤・セキュリティ基盤等の情報環境を戦略的に整備拡充する。
- ・ デジタル化による新たな働き方へのマインドセットを醸成するとともに、教員と職員の協働関係（教職協働）の構築やモチベーションマネジメントの推進により、多様な働き方を可能にする魅力ある職場環境を提供する。